

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

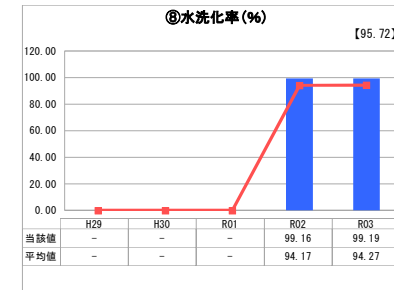
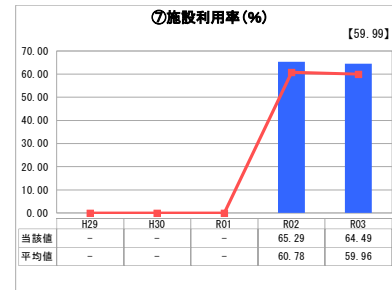
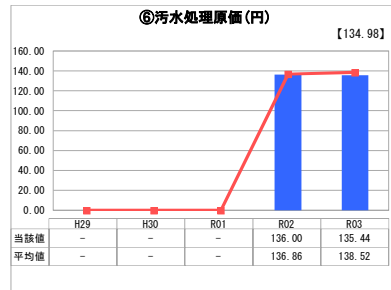
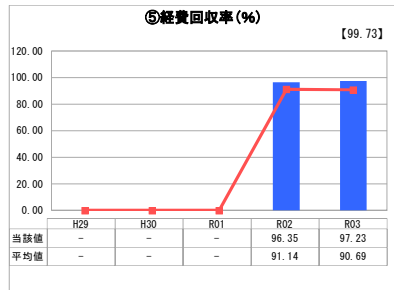
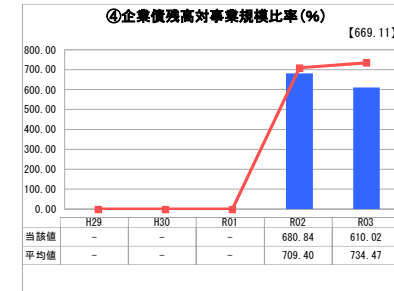
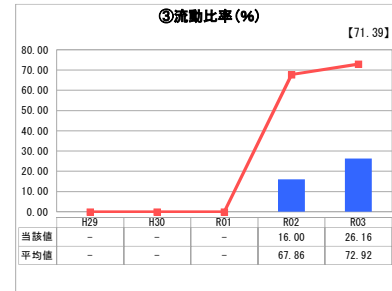
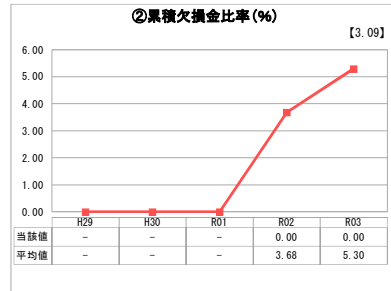
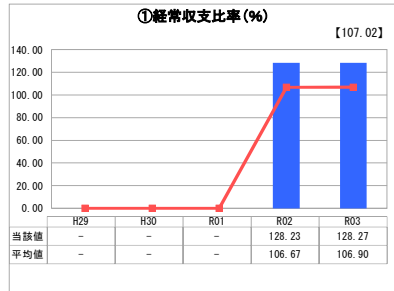
神奈川県 綾瀬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	71.66	94.33	85.08	2,289

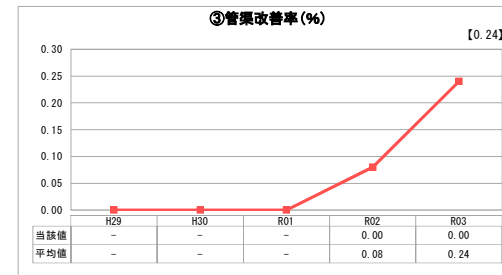
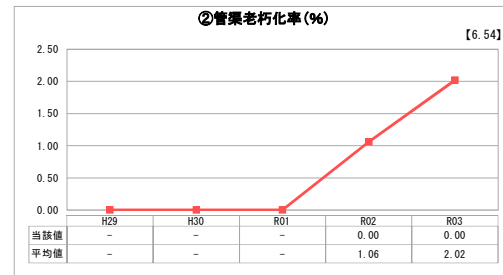
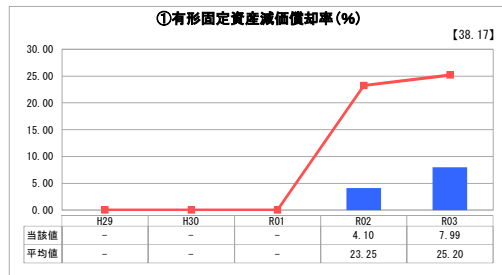
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
84,445	22.14	3,814.14
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
79,572	11.02	7,220.69

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

綾瀬市では令和2年度から地方公営企業法の一部適用を開始し、公営企業会計となりました。

①経常収支比率については128%であり、類似団体平均値を上回りました。

②該当ありません。

③流動比率については、類似団体平均値を下回っております。これは1年以内（令和4年度）に償還する企業債の金額が大きいためです。なお、今後数年の間は企業債償還金の額は減少していく見込です。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値を下回っております。企業債残高は今後数年の間は減少していく見込です。

⑤経費回収率については、97%と類似団体平均値を上回りました。しかしながら基準となる100%に届いていない状況です。

⑥汚水処理原価については、ほぼ類似団体平均値と同様になりました。

⑦施設利用率については、ほぼ類似団体平均値と同様になりました。

⑧水洗化率については99%を超えており、類似団体平均値を上回りました。

### 2. 老朽化の状況について

綾瀬市の公共下水道は供用開始から約35年が経過しており、徐々に更新時期が近づいている状況です。

①②有形固定資産減価償却率及び管渠老朽化率については数値上は低くなっておりませんが、実際の老朽化の状況は上記のとおりです。

③管渠改善率については、令和3年度は0%となりました。ストックマネジメント計画に基づき必要に応じて今後も管渠の更新を実施していきます。

## 全体総括

今年度の経費回収率は約97%であり、企業会計導入前の80%台と比べると改善されておりますが、経費回収率は100%を達成する必要があります。経費の削減に引き続き努めるとともに、下水道使用料の改定による経費回収率の改善を検討中です。

また、今後老朽化が進んだ管渠の更新費用が発生する見込です。経営戦略及びストックマネジメント計画に基づき、更新に必要な資金を将来に向けて確保していくのが課題となっております。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。